



グローバル・ディスラプター成長株ファンド (資産成長型) / (予想分配金提示型)

足もとの運用状況と上昇を見据えたポジション調整

- 2021年7月以降、当ファンドの基準価額は中国政府によるIT企業や教育関連企業への規制強化の影響を受け下落する局面がみられました。その後は比較的高いキャッシュ(現金等)比率を維持し、魅力的な投資機会を待っています。
- 高いキャッシュ比率を維持するだけでなく、上昇が見込まれる銘柄の組入比率を引き上げるなど今後のリターン獲得へ向けてポジションの調整をおこなっています。

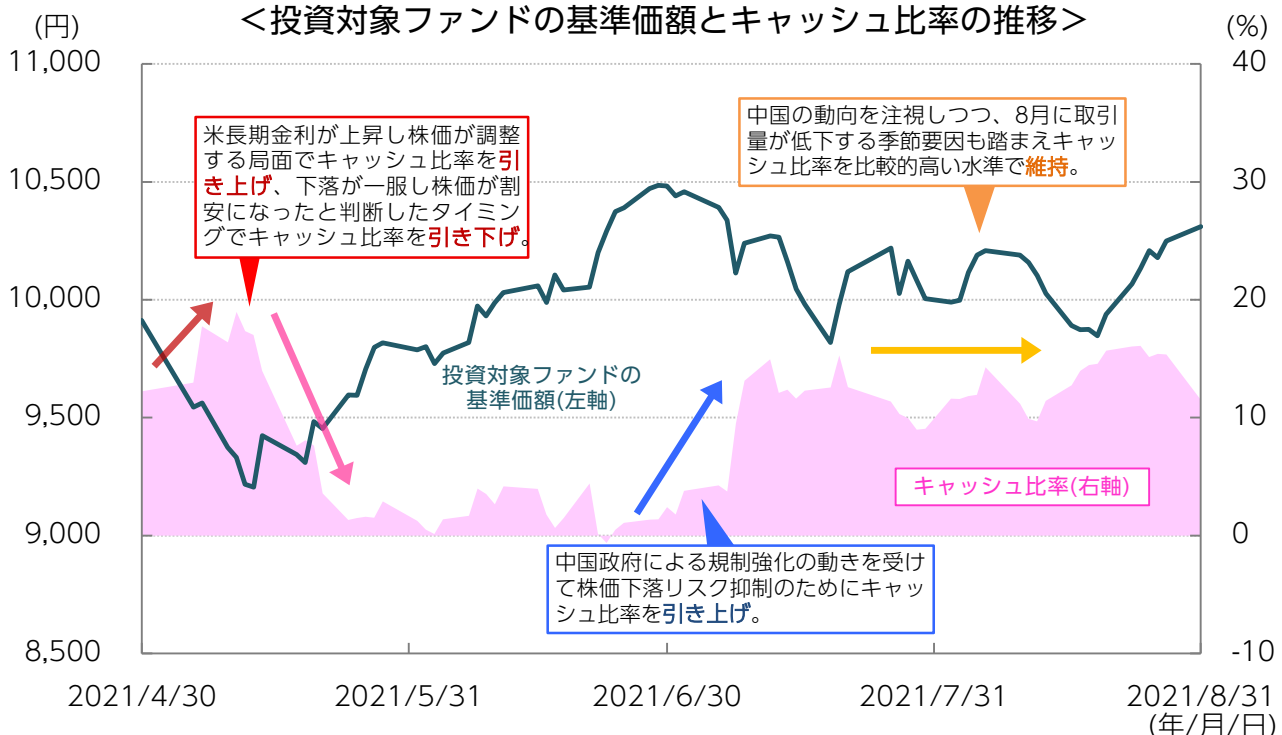
高いキャッシュ比率を維持するという選択

当ファンドはテクニカル分析を活用し、上昇相場でも下落リスクが想定されるタイミングではキャッシュ比率を引き上げ(リスク資産の保有比率を引き下げ)、相場が下落し株価が割安になったと判断したタイミングでキャッシュ比率を引き下げる(リスク資産の保有比率を引き上げる)方針です。

足もとのポートフォリオは、中国政府によるIT企業や教育関連企業への規制強化の動きに加え、8月は市場での株式取引量が少なくなるという季節的な要因からキャッシュ比率を引き上げた水準を維持しています。キャッシュ比率が高い状態で株価が上昇すると、株式組入比率が100%の場合に比べてパフォーマンスが劣後してしまうこともあります。しかし、一般的に取引量が少ないと活発な上昇相場にはなりにくいというえ、ネガティブなニュースが出て株式の売りが先行すると株価の下落幅が大きくなる傾向にあることから、リスクに見合うリターンが得られるような魅力的な投資機会を待つ選択も必要だと考えています。

引き続き、株価下落リスクを抑制しながらリターンの向上を図っていく方針です。

＜投資対象ファンドの基準価額とキャッシュ比率の推移＞



データ期間：2021年4月30日～2021年8月31日(日次)

出所)GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

上記は当ファンドが主に投資対象とする「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」の運用状況を示したものです。

上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

株価下落リスクを抑制する意義とは

良好な運用パフォーマンスを残すためには、株価上昇が見込まれる銘柄を選定し投資することが必要ですが、株価下落を抑制することもパフォーマンスの向上には不可欠だと考えています。

例えば、100万円で株式を購入した2つのパターンのシミュレーションを考えてみます。株式購入後、40%下落してしまった場合(パターン①)、投資元本に戻るためには約66.7%の上昇が必要です。一方で、下落幅を半分の20%に抑えられた場合(パターン②)、25%の上昇で投資元本に戻ります。

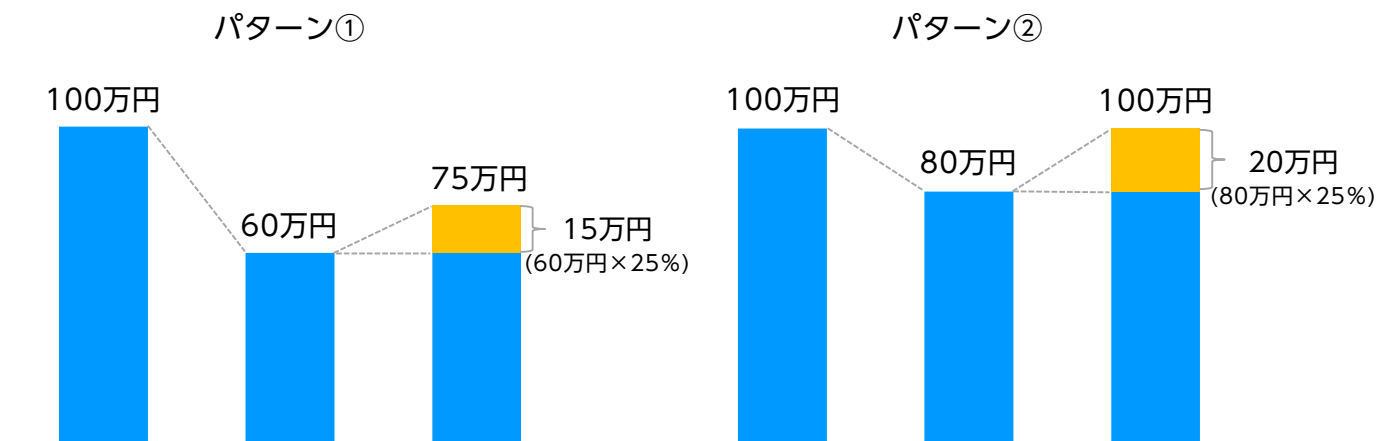
<株価下落後に投資元本に戻すためのシミュレーション比較>

	パターン① 40%下落 (100万円→60万円)	パターン② 20%下落 (100万円→80万円)
元本回復に必要な 上昇幅	+66.7%必要 (60万円→100万円)	+25.0%必要 (80万円→100万円)

また、各々のパターンにおいて株価下落後に25%上昇したと仮定すると、パターン①は75万円までの回復に留まるのに対し、パターン②は100万円まで上昇します。パターン①は60万円に対する25%の15万円上昇、パターン②は80万円に対する25%の20万円上昇となり、パターン②の方が上昇金額が大きくなります。

このように投資元本を減らさないようにすることも、その後のパフォーマンスの向上には不可欠だと考えています。当ファンドにおいても、値上がり益の追及だけでなく、株価下落リスクの抑制をめざしながら運用する方針です。

<株価下落後に25%上昇した場合のシミュレーション比較 (イメージ図)>



	パターン① 40%下落 (100万円→60万円)	パターン② 20%下落 (100万円→80万円)
株価下落後 25%上昇	+15万円 (60万円→75万円)	+20万円 (80万円→100万円)

上記はイメージ図です。上記は株価下落リスクを抑制する意義についてご理解を深めていただくための参考として、架空の株式の値動きをパターン別にシミュレーションし、お示ししたものです。実際の株価や当ファンドの取引を示したのではなく、ファンドの運用成果を示唆・保証するものではありません。市場が予期しない値動きをした場合等には、株価下落リスク抑制がパフォーマンスの悪化要因になることがあります。

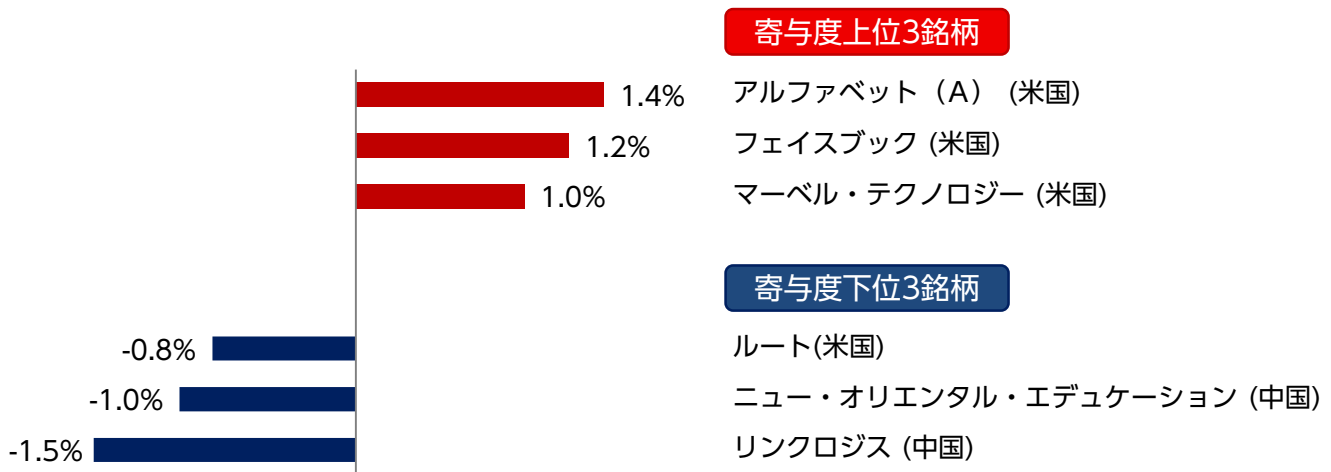
当ファンドの設定来の運用状況について

当ファンドは2021年4月26日に設定されました。その直後に世界的なインフレ懸念から米国を中心に長期金利が上昇し株価が下落する局面もありましたが、機動的なポジション調整によって6月にかけて基準価額は回復傾向にありました。

しかし、7月に入ると中国政府による規制強化の影響を受けやすいIT関連銘柄を中心に中国株式が下落した影響を受け、再び基準価額は下落しました。株価が下落すると、いち早くその下落分を取り返したいと考えるのが一般的だと思われそうですが、当ファンドは、前述の通り比較的高いキャッシュ比率を維持したまま**リスクに見合うリターンが得られる**ような魅力的な投資タイミングが訪れるのを待っています。

株価下落リスクと期待リターンを考えたうえで魅力的な投資機会での投資をめざす当ファンドの投資哲学を全うし、投資家の皆さまへ良好な運用パフォーマンスをお届けしたいと考えています。

<投資対象ファンドの基準価額への銘柄別寄与度(米ドルベース)>



データ期間：2021年4月26日<設定日>～2021年8月31日
当該期間における各銘柄の保有期間は異なります。

中国株式の組入比率を半分程度に引き下げ

中国の各種規制強化に対する懸念から、中国株式は7月以降、不安定な値動きをしています。この影響を受け当ファンドの基準価額も下落しましたが、6月末時点で約9.1%組入れていた中国企業の株式を7月末までに約4.2%まで引き下げました。

<中国企業の組入銘柄・比率>

銘柄名	6月末時点 組入比率	7月末時点 組入比率
ダダ・ネクサス	2.0%	0.8%
フル・トラック・アライアンス	1.3%	0.8%
JDドット・コム	2.0%	1.1%
リ・オート	1.3%	—
リンクロジス	1.5%	1.2%
ニュー・オリエンタル・エデュケーション	1.0%	0.3%
合計	9.1%	4.2%

組入比率は対純資産総額比です。

出所)GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記は当ファンドが主に投資対象とする「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」の運用状況を示したものです。
上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄の保有を保証するものではありません。

キャッシュ比率を高水準に維持するなか、組入比率を引き上げた銘柄例①

当ファンドは、キャッシュ比率を比較的高い水準で維持するなかでも、株価上昇を見込んで組入比率を引き上げた銘柄もあります。株価下落リスクを抑制するだけでなく、これから値上がりを期待できる銘柄へのポジション調整も行っています。

投資対象ファンドの組入比率

コインベース・グローバル (米国)

2.1%(7月末時点)⇒2.7%(8月末時点)

2021年4月にナスダックへ上場した暗号資産(仮想通貨)取引業者。暗号資産はまだ規制整備が行き届いておらず不安定な側面もあるものの、ブロックチェーンなどの新たなデジタル技術を有しており、「通貨」の常識を覆す可能性を秘めていると考えています。

2021年6月30日時点でゴールドマン・サックスやJPモルガン・チェースなどの複数の米大手金融機関や、米州政府が運営する複数の年金基金などの機関投資家が同社の株式を保有していると報道されており、今後の成長への期待度の高さがうかがえます。



投資対象ファンドの組入比率

サービスナウ (米国)

2.3%(7月末時点)⇒3.4%(8月末時点)

企業向けにクラウドベースの業務プラットフォームを提供。ワークフロー(業務と業務を繋ぐ仕組み)や、企業内の複数にわたるシステムを1つのプラットフォームで統合管理することができ、業務のデジタル化を後押しするとともに効率化をサポートしています。

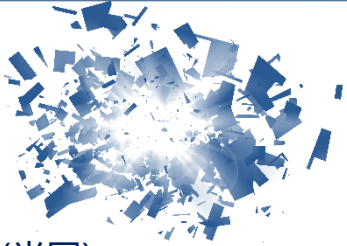
2021年7月28日に発表された4～6月期決算では、売上が前年同期比約32%増となっており、コロナ禍の影響が大きい小売業や接客業を中心に年間の新規契約額が大幅に増加しています。

クラウドベースのサービスであるため、複雑なデジタルシステムを構築せずとも導入可能であることが強みとして期待されています。



出所)ブルームバーグ、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記は当ファンドが主に投資対象とする「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」の運用状況を示したものです。
上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄の保有を保証するものではありません。組入比率は対純資産総額比です。

キャッシュ比率を高水準に維持するなか、組入比率を引き上げた銘柄例②



ズオラ (米国)

投資対象ファンドの組入比率

0.9%(7月末時点)⇒1.0%(8月末時点)

サブスクリプション管理プラットフォームを提供。顧客ニーズが「所有」から「利用」へ移るなか、「料金を支払うことで、製品やサービスを一定期間利用することができる」サブスクリプション型のビジネスモデルが広がりを見せています。

同社は、2021年3月発行のレポートでサブスクリプションビジネスの売上はS&P500と比較して過去9年間で6倍のスピードで成長していると発表しています。

ビジネスモデルの変化という形のディスラプションを巻き起こしていると考えています。



データ期間：2018年8月31日～2021年8月31日(日次)

投資対象ファンドの組入比率

ロク (米国)

2.0%(7月末時点)⇒2.2%(8月末時点)

動画配信プラットフォームを手掛ける同社は、全米で圧倒的なシェアを誇っています。日本には上陸していませんが、2008年に同社の機器によって初めてNetflixがテレビで見られるようになるなど、これまでストリーミング市場拡大の一役を担ってきました。

コロナ禍でストリーミングサービスによる動画配信市場は拡大を見せており、今後も引き続き利用者の増加に加え、広告収入の増加が見込まれています。

2021年8月4日の決算発表が市場予想を下回ったことを受け株価は下落しましたが、市場の高い期待には届かなかったものの業績自体は良好であることから、今後の株価上昇を見込み株価が割安になったと判断したタイミングで組入比率を引き上げています。



データ期間：2018年8月31日～2021年8月31日(日次)

出所)ブルームバーグ、GAMインターナショナル・マネジメント・リミテッドのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 上記は当ファンドが主に投資対象とする「GAMディスラプティブ・グロース・ケイマン・ファンド」の運用状況を示したものです。
 上記は特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄の保有を保証するものではありません。組入比率は対純資産総額比です。

ファンドの特色

①日本を含む世界の株式のなかから、既存の市場を破壊しうる革新的な技術・ビジネスモデルを有し、株価上昇が期待できる成長企業の株式に厳選して投資します。

②決算頻度および配分方針の異なる2つのファンドから選択いただけます。

<資産成長型>年1回決算を行います。信託財産の十分な成長に資することに配慮し、分配を抑制する方針です。

■毎年4月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

<予想分配金提示型>毎月決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。

■毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。

■収益配分方針に基づき、決算日の前営業日の基準価額(1万口当り。支払い済みの分配金累計額は加算しません)に応じて、以下の金額の分配を行うことをめざします。

決算日の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当り、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定
11,000円以上12,000円未満	200円
12,000円以上13,000円未満	300円
13,000円以上14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

・決算日の前営業日から決算日まで基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。

・基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。

・基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。

・分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。

・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。

■将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。

・販売会社によっては、どちらか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(指定投資信託証券を含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。特に、新興国の経済状況は先進国経済と比較して一般的に脆弱である可能性があり、ファンドの資産価値が大きく減少したり、運用方針にそった運用が困難になる可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

・基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

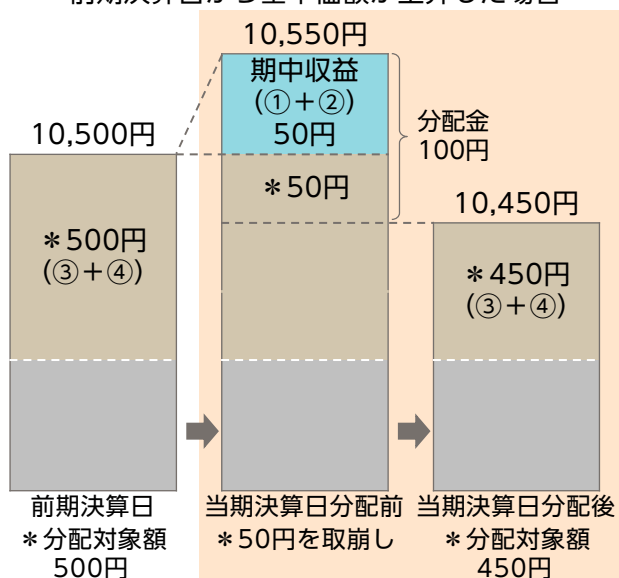
ファンドで分配金が支払われるイメージ



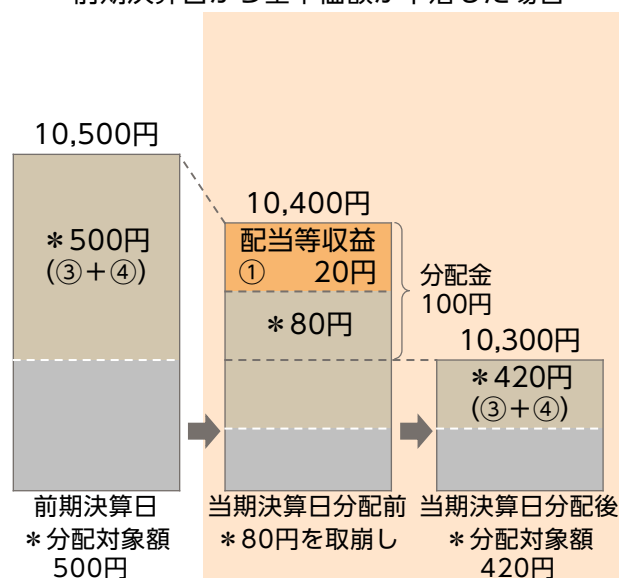
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合

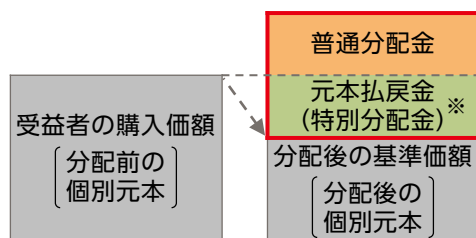


- 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 分配準備積立金：期中収益(①および②)のうち、当期の分配金として支払われず信託財産に留保された金額をいい、次期以降の分配金の支払いにあてることができます。
 収益調整金：追加型株式投資信託において追加設定が行われることによって、既存の受益者の分配対象額が減らないようにするために設けられた勘定です。

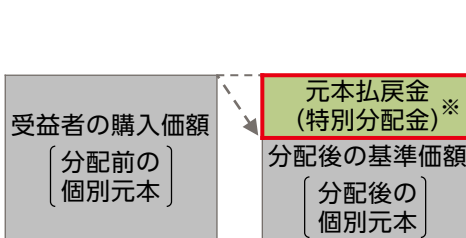
❗ 上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※実質的に元本の一部払戻しに相当する元本払戻金(特別分配金)が支払われると、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金：個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

- 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.3%(税抜3.0%) を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ●料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年率1.1825%(税抜1.075%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。			
		<table border="1"> <tr> <td>投資対象とする 外国投資信託証券</td> <td> 基本報酬 外国投資信託証券の純資産総額に年率0.715%程度をかけた額となります。 成功報酬 運用実績が良好であった場合にかかります。 ●年間最低基本報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の基本報酬の料率を上回ることがあります。成功報酬の詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。なお、これらの報酬は同証券からご負担いただきます。 </td> </tr> <tr> <td>実質的な負担</td> <td> ファンドの純資産総額に年率1.8975%(税込)程度をかけた額に成功報酬を加えた額となります。 ●上記料率は目安であり、各指定投資信託証券への投資比率が変動することにより、投資者が負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は変動します。また、外国投資信託証券に年間最低基本報酬額等がかかる場合、その純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。成功報酬は、ファンドが投資対象とする外国投資信託証券において、その運用実績が良好であった場合にかかる費用です。 </td> </tr> </table>	投資対象とする 外国投資信託証券	基本報酬 外国投資信託証券の純資産総額に年率0.715%程度をかけた額となります。 成功報酬 運用実績が良好であった場合にかかります。 ●年間最低基本報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の基本報酬の料率を上回ることがあります。成功報酬の詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。なお、これらの報酬は同証券からご負担いただきます。	実質的な負担
	投資対象とする 外国投資信託証券	基本報酬 外国投資信託証券の純資産総額に年率0.715%程度をかけた額となります。 成功報酬 運用実績が良好であった場合にかかります。 ●年間最低基本報酬額等がかかる場合、純資産総額等によっては年率換算で上記の基本報酬の料率を上回ることがあります。成功報酬の詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。なお、これらの報酬は同証券からご負担いただきます。			
実質的な負担	ファンドの純資産総額に 年率1.8975%(税込)程度 をかけた額に 成功報酬 を加えた額となります。 ●上記料率は目安であり、各指定投資信託証券への投資比率が変動することにより、投資者が負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は変動します。また、外国投資信託証券に年間最低基本報酬額等がかかる場合、その純資産総額等によっては年率換算で上記の料率を上回ることがあります。成功報酬は、ファンドが投資対象とする外国投資信託証券において、その運用実績が良好であった場合にかかる費用です。				
監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.011%(税抜0.01%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。				
随時	その他の費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。			

- ! 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。
- ! 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

取扱販売会社一覧

※ 販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	金融商品 取引業者	登録金融 機関	登録番号	日本証券業 協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
十六TT証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第188号	○			
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (9:00~17:00 土日祝日・年末年始を除く) ホームページ： https://www.nam.co.jp/
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
三菱UFJ信託銀行株式会社	